

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
Mac演習		1年アパレル造形科		期区分	通年	時間数	85
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	演習50%・実技40%・講義10%		なし			
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)・PowerPointの技術取得						
習得項目	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 PowerPointによるプレゼンテーションツール作成基本操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得						
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	授業内容説明・ソフトウェア使い方・設定方法					4月18日～4月25日
	2	illustrator(図形描画・文字・カラー設定)					5月9日～5月16日
	3	Illustrator(クリッピングマスク)					5月23日～5月30日
	4	Illustrator(トレース)					6月6日～6月13日
	5	Photoshop(基本ツール説明)					6月20日～6月27日
	6	IllustratorとPhotoshopを使用したコラージュ作成課題					7月4日～7月11日
		前期修了ショー リハーサル					7月25日
	7	Photoshop(ブラシツール・歪みツール等)					9月5日～9月12日
	8	Illustratorを使ったテキストスタイルデザイン課題					9月26日～10月17日
	9	IllustratorとPhotoshopを使った企業ロゴ制作課題					10月31日～11月28日
	10	Illustratorを使ったハンガーイラスト描画課題 Aクラス□					12月5日～12月19日□
	11	Illustrator・Photoshopを使ったハンガーイラスト柄付け作業 Aクラス					1月16日～1月30日
		ファッションショー期間					2月6日～2月13日
		ファッションショー片付け日					2月20日
講師区分	常勤	講師名	大島	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、美術学校にて講師経験もあり		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
ドレーピング		1年アパレル造形科		期区分	通年	時間数	95
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技80%・講義20%		なし			
科目概要	寸法を元に行う平面製図ではなく、立体ボディーを使用し実際の布(シーチング)を当てて組み、型紙を作る						
習得項目	・布(シーチング)、ピンの扱いを学ぶ。 ・実際のボディーのフォルムに合わせながら、ライン、ダーツを取り形を表現していく。 ・ダーツを理解しながらパターンの仕組みを理解する。						
評価方法	1課題評価 フォルムに合わせてラインが見られているのか、布目が合っているのか、ピンの打ち方、布の扱い方等。 2授業態度 出席率・集中度等。 * 総合評価100ポイント。成績評価が60点未満の場合は補習の対象。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	オリエンテーション					4月12日
	2	ピンクッション					4月19日
	3	トートバッグ					4月26日
	4	ドレーピングについて、地の目直し					5月10日
	5	前・後原型1 サイドダーツ					5月17日～6月7日
	6	前・後原型2 ショルダーダーツ					6月14日～7月5日
	7	トレース					7月12日～7月26日
	8	セミタイトスカート 前身頃					9月6日～9月13日
	9	〃	後ろ身頃				9月13日～9月20日
	10	〃	線入れ・カット				9月27日
	11	〃	ベルト・組み立て				10月4日～10月11日
	12	ヨーク・フレンチスリーブブラウス 前ヨーク					10月18日
	13	〃	前身頃				10月25日
	14	〃	後ろヨーク				11月1日
	15	〃	後ろ身頃				11月8日
	16	〃	線入れ・カット				11月15日
	17	〃	組み立て				11月22日～11月29日
	18	ショールカラーブラウス 続きヨーク					12月6日
	19	〃	前身頃				12月13日
	20	〃	後ろ身頃				12月20日
	21	〃	線入れ・カット				1月17日
	22	〃	組み立て				1月24日
	23	〃	衿				1月31日～2月28日
講師区分	常勤	講師名	花澤 由里子	関係実務経験	アパレル企業にてパタンナー及び生産管理のアシスタントとして勤務		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
デザイン演習		1年アパレル造形科		期区分	後期	時間数	55
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実習実技		なし			
科目概要	想像力、造形的バランス感覚を身につけ 自身のクリエイションについて、プレゼンテーション力を養う。						
習得項目	ファッション用語、素材やテクニックへの知見を高め、イメージと表現力を身につける。 様々な視点による課題解決、プレゼン力を身につける。 アパレル用語(デザイン・アイテム名称)の知識習得						
評価方法	授業姿勢、製作課題評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1 表現 トレーニング	ペーパーアート(ヘッドドレス①課題説明・デザイン考察)					9月1日
		ペーパーアート(ヘッドドレス②デザインラフ・テクニカル検証)					9月8日
		ペーパーアート(ヘッドドレス③作品製作)					9月15日
		ペーパーアート(ヘッドドレス④作品製作)					9月22日
		ペーパーアート(ヘッドドレス⑤作品製作・仕上げ)					9月29日
		作品撮影・ポートフォリオ					10月6日
		ポートフォリオ製作①(テーマ・コンセプト・イメージ収集)					10月13日
		ポートフォリオ製作②					10月20日
		講評会(ペーパーアート)					11月10日
	2 応用表現	基礎科ショー・デザイン考察					11月17日
		〃					11月24日
	3 基礎知識	講座「アパレル・デザイン①」著名なコレクション					12月1日
		講座「アパレル・デザイン②」製品デザイン(仕様書・生産技術)					12月8日
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン①(ニット、カットソー)					12月15日
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン②(布帛トップス)					12月22日
		講座「アイテムデザイン」製品デザイン③(ボトムス)					1月12日
		終了テスト(アパレル用語試験「デザイン・アイテム名称」)					1月19日
		追試・テスト返却					1月28日
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
スタイル画		1年アパレル造形科		期区分	前期	時間数	35
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修 or 選択	実技実習		なし			
科目概要	1.基本デッサンで造形力・視覚的感性の向上をはかりバランス感覚やセンスを磨く。 2.ファッションスタイル画の描画テクニックと表現力を身につける。(コンテスト作品分析)						
習得項目	ファッションスタイル画表現技法 デザイン、ドローイング用具の使い方						
評価方法	授業姿勢、製作課題・作品評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
		授業オリエンテーション・デッサン用具準備					4月13日
	1 ベーシック トレーニング	石膏デッサン(構図・描き始め)デモンストレーション					4月21日
		石膏デッサン(大きな形と修正)					4月27日
		石膏デッサン(陰影の作り方)					5月12日
		石膏デッサン(描き込み)					5月19日
		石膏デッサン(細部・仕上げ)					5月26日
		人物クロッキー会(人物全身構図・バランス・造形の捉え方)					6月2日
	2 表現 トレーニング	スタイル画(基本フレーム・ヌード9頭身)					6月9日
		スタイル画(スタイル画模写)					6月16日
		スタイル画(フリーポーズ・着装・衣服の動き)					6月23日
		スタイル画(共通モチーフ・モノトーン淡彩着彩)					6月30日
		スタイル画(マーカー着彩)					7月7日
		スタイル画(コラージュ①)					7月14日
		スタイル画(コラージュ②)					7月21日
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
服飾史		1年アパレル造形科		期区分	前期	時間数	35
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	オンライン講義		なし			
科目概要	古代から現代までの洋服の歴史を知る。素材、形、構造など。						
習得項目	作品製作において資料として活用する。 現代の衣服に置き換えて考える。 デザインの参考にする。						
評価方法	レポート、課題提出。 平常点 以上の平均点						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	衣服の起源					4月15日
	2	衣服の形 素材					4月22日
	3	古代エジプト メソポタミア					5月6日
	4	古代ギリシャ ローマ					5月13日
	5	ビザンチン ロマネスク					5月20日
	6	ゴシック ルネサンス					5月27日
	7	バロック ロココ					6月3日
	8	フランス革命 ナポレオン レポート課題					6月10日
	9	近代 市民革命					6月3日
	10	世紀末					6月24日
	11	20世紀					7月1日
	12	アールヌーボー アール・デコ					7月8日
	13	1930年代					7月15日
	14	第二次世界大戦					7月22日
講師区分	常勤	講師名	古賀	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
カラー		1年アパレル造形科		期区分	前期	時間数	35
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	オンライン講義100%		なし			
科目概要	AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、文部科学省後援AFT色彩検定3級の取得を目指すことを主目的とし、実務にむけた イメージに合わせたカラーコーディネート、パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論を学ぶ。						
習得項目	文部科学省後援AFT色彩検定3級の習得及び、習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。さらに、表現したいファッションイメージに合わせて、ロジックに基づいてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなどそれぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「筆記試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	授業オリエンテーション(色彩検定の概要や取得目的を知る)					4月15日
	2	色の表示(色の分類と三属性、PCCS)					4月15日～4月22日
	3	色彩心理(色の心理的効果、色の視覚効果)					5月6日
	4	配色イメージ、ファッションと色彩、流行色について					5月13日
	5	色彩調和					5月13日～5月27日
	6	光と色(色が見えるしくみ、照明と色の見え方、混色と混色の身近な応用例)					6月3日～6月10日
	7	検定直前対策(出題ポイントを項目[全8項目]ごとに解説)					6月17日～6月24日
	8	イメージに合わせたファッションカラーコーディネート					7月1日～7月15日
	9	パーソナルカラー概論と仕事での取り入れ方					7月22日
	講師区分	非常勤	講師名	堀川彩里	関係実務経験	文部科学省後援色彩検定協会認定色彩講師	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
トレンド分析		1年アパレル造形科		期区分	通年	時間数	85
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技80%、講義20%		なし			
科目概要	既存のブランドや市場トレンドの分析を行うことで分析能力、ブランドの考え方や企画プロデュース能力を身につける。						
習得項目	ブランドや市場のトレンド分析を行うことでブランドに必要なコンセプトワーク、ブランディング等を演習し、実際に商品企画を行いMAP作成やプロデュース能力を身につける。また、それに付随する分析能力やビジネス用語を身につける。						
評価方法	授業態度・MAP作成・トレンド分析時に使用する用語や企画のテスト、プレゼン、レポート。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	オリエンテーション。1年を通しての課題説明。生徒の学びたいデザイン演習、自己				4月18日	
	2	コンセプトMAP イメージMAP その他トレンド分析に必要な用語の説明。				4月25日	
	3	ホームページや課題作品例を通してブランドコンセプト、シーズンテーマの資料集				5月9日	
	4	課外授業・マーケティング、価格、どんなアイテムがあるかを考察。				5月16日	
	5	課外授業 市場調査・分析 レポート作成				5月23日	
	6	課外授業の報告会 トrend分析MAP作成				5月30日	
	7	広告宣伝とは？それに基づいたPOP UP コラボレーション企画について				6月6日	
	8	アイテム構成について考察、作成。デザイン画作成。				6月13日	
	9	素材について、デザインに基付いた素材を考察。素材生地サーチ課外授業。				6月20日	
	10	デザイン画作成。カラー作成。修正等。				6月27日	
	11	仕様書の作成。				7月4日	
	12	各項目のまとめ、表紙、装丁など。				7月11日	
	13	プレゼン発表会。MAP提出。				7月25日	
講師区分	非常勤	講師名	渡邊牧子	関係実務経験	アパレル企業にてデザイナー職にあり、実務の視点から企業で行う仕事の流れに沿った具体的な商品企画を指導する。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間				
服飾技術実習		1年アパレル造形科		期区分	前期	時間数	377.5	
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)				
	必修	実技70%・講義30%		なし				
科目概要	平面で製図した型紙を用紙を用布の上で裁断し縫い合わせ、立体化して着用する、服となっていく工程の理解と様々な縫製技術の習得を身につける。							
習得項目	1.各アイテムを池田式製図方法にて学ぶ。 2.手縫いとミシンの技術とアイテムの縫製方法を学ぶ。 3.服飾資材の知識と扱い方を学ぶ。 4.納期の期限を守る意識を身につける。							
評価方法	・課題評価(縫製技術、デザイン、期限) ・試験 ・出席率							
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)	
	縫製1	用具の説明(洋裁用具の使用の仕方説明)					4月13日	
	縫製2	ミシン講義					4月13日	
	縫製3	ピンクッション製作					4月13日～14日	
	縫製4	基礎縫い(手縫い技法の部分縫い)					4月21日～5月12日	
	縫製5	トートバッグ					4月21日～4月28日	
	縫製6	セミタイトスカート					5月11日～5月26日	
	縫製7	シャツ					6月2日～6月29日	
	縫製8	ワンピース					6月30日～7月21日	
	製図1	採寸					4月19日	
	製図2	基礎・原型					4月20日～5月10日	
	製図3	ダーツの展開					5月11日～5月25日	
	製図4	スカート各種					6月7日～6月8日	
	製図5	ドロップショルダーシャツ					5月18日	
	製図6	ワンピース各種					6月14日～6月15日	
	製図7	部分製図各種					6月21日～6月22日	
	縫製1	パンツ					9月7日～10月18日	
	縫製2	ベスト					10月19日～11月30日	
	製図1	パンツ					9月6日	
	製図2	ベスト					9月28日	
	製図3	ブラウス各種					9月7日～9月14日	
	製図4	スカート各種					9月21日～9月27日	
	製図5	ジャケット(パネル切り替え)					10月4日	
	縫製1	修了製作					12月1日～3月2日	
	講師区分	常勤	講師名	柳澤 沙織 ・ 上野 菜月	関係実務経験	当校卒業後、OEM会社にてパタンナーアシスタント、生産管理、お直し等を経験		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
就職ガイダンス		1年アパレル造形科		期区分	後期	時間数	60
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	オンライン講義		株式会社アズノウアズ			
科目概要	就職へ向けて、仕事について理解を深め、就職活動の基本的な流れ・知識を身につける。						
習得項目	自己分析や企業・職種研究によって仕事への理解を深め、希望する企業や職種を定める。年々早まる採用スケジュールと足並みをそろえた就職活動を行えるよう、採用試験に関する基本的な知識を身につける。						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。 (出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	オリエンテーション(授業説明、就活の流れ、就職意識調査)					9月2日
	2	業界研究:アパレル業界の職種、業種について					9月9日
	3	業界研究:衣装関係の職種、仕事の流れ					9月16日
	4	企業研究:企業情報の調べ方、求人情報の見方					9月30日
	5	バス遠足					10月7日
	6	ビジネスマナー(挨拶、姿勢、服装、コミュニケーションの常識)					10月14日
	7	自己分析:マインドマップの作成					10月21日
	8	自己分析:過去エピソードの整理					10月28日
	9	運動会					11月4日
	10	卒業生による仕事紹介					11月11日
	11	ビジネスマナー(メールの送り方)、マイナビ登録					11月18日
	12	履歴書作成(記入ルール、注意事項)					11月25日
	13	内定者の就職体験談					12月2日
	14	ポートフォリオ作成について、準備の仕方					12月9日
	15	選考課題、実技試験について、準備の仕方					12月16日
	16	WEBエントリーシート、説明会やインターンへの参加手順					12月23日
	17	自己PR、長所の書き方					1月13日
	18	志望動機の書き方					1月20日
	19	企業説明会					1月27日
	20	FS期間					2月3日～3月3日
講師区分	常勤	講師名	久野	関係実務経験	採用、新人研修		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
ファッション素材学		1年アパレル造形科		期区分	後期	時間数	60
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	オンライン講義		なし			
科目概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、布地を理解し製作、販売、コーディネートに役立てる。 繊維、生地の名前を知る。 教科書 わかりやすいアパレル素材の知識						
習得項目	繊維の分類、種類、特性を知る。 生地、製品の取り扱い方、特性を知る。						
評価方法	レポート、提出物 平常点 以上の平均点						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	アパレル素材とは 1					9月2日
	2	アパレル素材とは 2					9月9日
	3	繊維の分類 名称 天然繊維					9月16日
	4	繊維の分類 名称 化学繊維					9月30日
	5	糸について					10月7日
	6	織物の三原組織					10月14日
	7	基本的な柄の名前					10月21日～10月28日
	8	秋冬の布					11月4日
	9	編み物について レポート 素材の扱い					11月11日
	10	裏地 芯地について					11月18日
	11	加工について					11月25日
	12	デニムとジーンズ					12月2日
	13	レースについて レポート 2 リサーチ					12月9日
	14	皮と毛皮					12月16日
	15	不織布 フェルト					12月23日
	16	染色 プリント					1月13日
	17	繊維の見分け方					1月20日
	18	新しい素材					1月27日
	19	FS期間					2月3日～3月3日
講師区分	常勤	講師名	古賀	関係実務経験	雑誌編集、アパレルデザイナー、手芸研究家		

授業科目名		履修対象			履修期間				
服飾造形実習		2年アパレル造形科デザイナーコース			期間区分	前期・後期1	時間数	265時間	
選択区分	履修区分	授業形態			企業連携(連携企業)				
	必修	実技80%・講義20%			なし				
科目概要	1.ジーンズの製図・オリジナルデザインにアレンジして造形 2.シャツ 製図・オリジナルデザインにアレンジして造形 3. 総裏仕立て4面構成ジャケット製図、 4.総裏仕立て3面構成ジャケット製図 5.オリジナルデザインジャケット製図・造形 6.ディティールの部分縫い								
習得項目	1、各アイテムの基本シルエットを理解し、応用デザインの製図が出来る。 2、各アイテムの基本縫製を理解し、応用デザインの縫製も出来る。								
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績								
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標					期間(月日)		
	1	ジーンズ製図(基本型シルエット)1/2サイズ、(自己サイズシルエットを実寸大で)					4/13～4/15		
	2	シーチング仮縫い・補正、パターントレース					4/20～4/22		
	3	ジーンズのディティール製図(基本型・自己サイズ)、工業用パターン作成					4/27～5/6		
	4	ジーンズ縫製 生地裁断・芯貼り・ロックがけ					5/11～5/13		
	5	ジーンズ縫製・完成・提出まで					5/18～5/20		
	6	採寸後、自分の第一・第二原型を作成してから、シャツの製図1/2サイズ					6/1～6/3		
	7	シャツの製図自分のサイズでオリジナルデザイン・工業用パターン						6/8～6/10	
	8	シャツ縫製 生地裁断・芯貼り					6/15～6/17		
	9	シャツ縫製 本縫い					6/22～6/24		
	10	シャツ縫製 本縫い					7/1～7/7		
	11	シャツ縫製 本縫い					7/13～7/15		
	12	シャツ縫製 本縫い・仕上げ・提出					7/20～7/22		
	13	基本型4面構成ジャケット製図					9/1～9/7		
	14	基本型3面構成ジャケット製図					9/8～9/14		
	15	自分の原型を使用し、3・4面構成のどちらかを選んで製図					9/15～9/21		
	16	シーチング裁断・ミシン縫い・仮縫いチェック・補正					9/22～9/29		
	17	オリジナルデザインジャケットにアレンジしてパターンを完成・工業用パターンを作成					9/30～10/6		
	18	シーチングのジャケットを使って部分縫い(ポケット・袖口あき見せ・ベント)					10/12～10/14		
	19	生地裁断(表地・裏地・芯地)・芯貼り・テープ貼り					10/19～10/21		
	20	本縫い					10/26～10/28		
	21	〃					11/2～11/10		
	22	〃					11/11～11/17		
	23	〃					11/18～11/25		
	24	〃 完成・次週内提出					11月30日		
講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年				

授業科目名		履修対象		履修期間		
卒業制作実習		2年アパレル造形科デザイナーコース		期間区分	後期2	時間数 112.5時間
選択区分	履修区分	授業形態		企業連携(連携企業)		
	必修	実技80%・講義20%		なし		
科目概要	卒業作品制作をする。					
習得項目	1、各アイテムの応用デザインの製図が自由に出来る。 2、各アイテムの応用デザインの縫製も工夫が出来るようになる。					
評価方法	1.出席率 2.提出課題の成績 3.テストの成績					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	卒業作品のデザインに基づき、各アイテムの製図や素材加工などの試作をする。				12/1～12/7
	2	トワルチェック・補正・工業用パターン作成				12/8～12/14
	3	生地裁断・芯貼り・ロックかけなど本縫いの準備をする。				12/15～12/21
	4	本縫い				12/22～1/11
	5	〃				1/12～1/18
	6	〃				11/19～1/26
	7	〃 付属品などの小物類を制作し、全てを完成させる。				1月27日
	講師区分	常勤	講師名	リビ裕子	関係実務経験	アパレル企業でパタンナー5年、 服飾系専門学校講師歴 継続して40年

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
デザイン演習Ⅱ		2年アパレル造形科デザイナーコース		期区分	前期	時間数	32.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技・演習		なし			
科目概要	1.テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力(クリエイション)を養う。 2.コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。 3.プレゼンテーション力の強化(資料、素材の収集～ストーリーの構築)						
習得項目	・素材加工テクニック ・コンセプトメイキング・デザインストーリーの構築力						
評価方法	授業姿勢、製作課題評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1 デザイン オリエンテー ション	コラージュ(有名デザイナーへのオマージュ)①A3イラストレーションボード使用					4月18日
		コラージュ(有名デザイナーへのオマージュ)②GW課題					4月25日
		講評会(コラージュ作品プレゼンテーション)					5月9日
	2 素材表現	テキスタイル実習 2グループローテーション制 (グループ交代制ワークショップシルクスクリーンプリント/SDGsを意識した素材提案)					5月16日
		〃					5月23日
		〃					5月30日
		〃					6月6日
		〃					6月13日
		〃					6月20日
		〃					6月27日
		〃					7月4日
		講評会(テキスタイルワークショップ作品プレゼンテーション)					7月11日
		前期修了ショーリハ					7月25日
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
デザイン演習Ⅱ		2年アパレル造形科デザイナーコース		期区分	後期	時間数	52.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技・演習		なし			
科目概要	1.テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力(クリエイション)を養う。 2.コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。 3.表現テクニックの習得						
習得項目	・素材加工テクニック(知見と技術習得) ・コンセプトメイキング・デザインストーリーの構築力						
評価方法	授業姿勢、製作課題評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	3 応用表現	素材クリエイション(卒業製作テーマ)「デザイン考察(リサーチ)」					9月5日
		〃					9月12日
		素材クリエイション(卒業製作テーマ)「デザインサンプリング(Trial & Error)」					9月26日
		〃					10月3日
		〃					10月17日
		〃					10月24日
		〃					10月31日
		〃					11月7日
		素材クリエイション(卒業製作テーマ)「デザイン・ポートフォリオ」					11月14日
		〃					11月21日
		素材クリエイション(卒業製作テーマ)「デザイン・ポートフォリオ(まとめ)講評」					11月28日
	テキスタイルワークショップ(卒業作品素材製作)					12月5日	
	〃					12月12日	
	〃					12月19日	
	〃					1月16日	
	作品製作(卒業作品製作フォロー時間)					1月23日	
	〃					1月30日	
	〃					2月6日	
	〃					2月13日	
	FS片付け日					2月20日	
	補習期間					2月27日	
講師区分	常勤	講師名	石川	関係実務経験	国内外アパレルデザイン、プロダクトデザインに携わった経験をもち、実務の経験からスタイル画表現について指導する。		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
職業実践・企画・トレンド		2年アパレル造形科/専攻科		期区分	通年	時間数	190
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技60% 講義40%		(株)アミナコレクション (株)クレヨン			
科目概要	トレンドやマーケットの流れをとらえ、ブランドのコンセプトやマーケットでのポジショニングを理解し商品企画を行う。 企業の仕事についての理解を深めるため、実践的に産学授業を取り込みアパレル業界の今を体験する。						
習得項目	1.コレクションブランド分析を行い、ファッショントレンドの流れの把握と産学先のブランドに対しての知識習得。 2.今シーズンのトレンドの流れを踏まえ、ブランド企画力を養う（ポートフォリオ作成）/プレゼン能力習得 3.デザイナー、テクニカル科は企画スキル向上、パターンナー科はCADスキル向上						
評価方法	各項目に標準点を置き「授業態度・製作意欲・習熟度」100ポイントを担当講師採点。 「課題評価」100ポイントを連携企業採点として、その平均値を算出し評価を行う。 （出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる） 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)	
	1	授業内容説明・スケジュール確認等 / ポートフォリオ作成説明				4月19日	
	2	(株)アミナコレクション 課題説明 「今年らしいエスニックスタイルの提案（仮）」				4月26日	
	3	(株)アミナコレクション ショップリサーチ・課題ワーク / ポートフォリオ作成				5/10～5/31	
	4	(株)アミナコレクション プレゼン/レポート/ グループディスカッション練習				6/7～6/21	
	5	(株)クレヨン 課題説明 「2022AW ロイスクレヨンデザインの提案（仮）」				6月28日	
	6	(株)クレヨン ショップリサーチ・課題ワーク / 企業選考対策の課題作成				7/5～7/19	
	7	(株)クレヨン プレゼン/レポート				9/6～9/20	
	8	(株)ベネフィット 課題説明 「課題内容検討中」 / ブランド企業課題説明				9月27日	
	9	(株)ベネフィット ショップリサーチ・課題ワーク / ブランド企業課題準備・プレゼン				10/4～11/15	
	10	(株)ベネフィットプレゼン/レポート				11/22～29	
	11	(株)アズノウアズ 課題説明 「リメイク 課題内容検討中」				12月6日	
	12	(株)アズノウアズ ショップリサーチ・課題ワーク / SDGs関連事業講義・課題				12/13～1/17	
	13	(株)アズノウアズ プレゼン/レポート				1/24～1/31	
	14	DPTショー準備期間				2022/2/1～	
講師区分	常勤	講師名	吉岡/リビ/久野		関係実務経験	MD/デザイナー経験	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
Mac演習2		2年アパレル造形科デザイナーコース		期区分	後期	時間数	60
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	演習50%・実技40%・講義10%		なし			
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)の更なる技術取得						
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初～中級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得 ポートフォリオ作成及びプレゼンテーション実施のための知識と周辺機器(プリンターなど)操作						
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	授業内容説明(Illustrator・Photoshop中級レベル認識と内容理解)					9月2日
	2	illustratorベジェ曲線技術習得					9月9日～9月16日
	3	Illustrator(トレース・エンベロープ)					9月30日
		バス遠足					10月7日
	4	Illustratorを使ったコラージュ制作					10月14日～10月21日
		運動会					11月4日
	5	Illustrator(遠近法描画)					11月11日～11月18日
	6	Photoshop(マスク設定方法・文字エンボス加工等)					11月25日
	7	IllustratorとPhotoshopを使った雑誌広告デザイン制作					12月2日
	8	IllustratorとPhotoshopを使ったポートフォリオ制作					12月9日～12月16日
	9	IllustratorとPhotoshopを使った海外広告高度トレース課題					12月23日～1月13日
	10	IllustratorとPhotoshopを使った自由課題制作(各自企画のグラフィック制作)□					1月20日～1月27日
		ファッションショー期間					2月3日～2月10日
		ファッションショー					2月17日
		ファッションショー振替休日□					2月24日
講師区分	常勤	講師名	大島	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、 美術学校にて講師経験もあり		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
Mac演習2		2年アパレル造形科デザイナーコース		期区分	後期	時間数	60
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	演習50%・実技40%・講義10%		なし			
科目概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)の更なる技術取得						
習得項目	Illustrator中級操作およびPhotoshop初～中級操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得 ポートフォリオ作成及びプレゼンテーション実施のための知識と周辺機器(プリンターなど)操作						
評価方法	課題作成による知識と技術／期末テストによる基礎知識確認／授業態度／出欠状況をトータルして評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	授業内容説明(Illustrator・Photoshop中級レベル認識と内容理解)					9月2日
	2	illustratorベジェ曲線技術習得					9月9日～9月16日
	3	Illustrator(トレース・エンベロープ)					9月30日
		バス遠足					10月7日
	4	Illustratorを使ったコラージュ制作					10月14日～10月21日
		運動会					11月4日
	5	Illustrator(遠近法描画)					11月11日～11月18日
	6	Photoshop(マスク設定方法・文字エンボス加工等)					11月25日
	7	IllustratorとPhotoshopを使った雑誌広告デザイン制作					12月2日
	8	IllustratorとPhotoshopを使ったポートフォリオ制作					12月9日～12月16日
	9	IllustratorとPhotoshopを使った海外広告高度トレース課題					12月23日～1月13日
	10	IllustratorとPhotoshopを使った自由課題制作(各自企画のグラフィック制作)□					1月20日～1月27日
		ファッションショー期間					2月3日～2月10日
		ファッションショー					2月17日
		ファッションショー振替休日□					2月24日
	講師区分	常勤	講師名	大島	関係実務経験	デザイン事務所にてグラフィックデザイナー経験後、 美術学校にて講師経験もあり	

授業科目名		履修対象		履修期間			
就職キャリアデザイン		2年アパレル造形科デザイナーコース		期間区分	前期	時間数	32.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(連携企業)			
	必須	講義(オンライン)80 演習(対面)20		株式会社エス・グルーヴ、他			
科目概要	自己理解と自己分析を進め、自己効力感を高めていく。人生百年時代を迎え変化の激しい時代に対して、より良い進路を選択し、就職及びキャリア形成のために必要な知識とマナーを習得する。						
習得項目	自己理解に時間をかける。就職活動の際に必要な、書類作成の手順や面接マナーを学び、志望企業の内定獲得を目指す。面接対策では学生同士で模擬面接を行こない、一般的な面接の流れを理解する。また、国際社会や業界への理解を深めることで、就職後のキャリア形成に役立つ知識を身につける。						
評価方法	各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「模擬面接」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。						
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標					実施予定日
	1	自己理解・自己分析の進め方、適性テストも交えて自分自身の理解と自己効力感を高める作業を行う。					4月18日
	2	効果的な自己PRの作成の仕方、自己PR文の作成演習					4月25日
	3	応募書類作成(各項目の記述解説)					5月9日
	4	応募、エントリー情報の調べ方、求人票のチェックポイント					5月16日
	5	企業説明会(株式会社エスグルーヴ、他)					5月23日
	6	web面接練習(1分自己紹介)					5月30日
	7	面接解説(よくある出題と対策)					6月6日
	8	web面接対策(一般的なweb面接ツールの解説、マナー指導)					6月13日
	9	模擬面接【対面＋オンライン】					6月20日
	10	今後の世界情勢、国内情勢からキャリアの組み立てを考える					6月27日
	11	業界研究、企業研究の進め方					7月4日
	12	今後の就職活動、転職、キャリアアップについて(課題発表)					7月11日
		学校行事					7月25日
	担当教員						
講師区分	名	講師略歴					企業・当該実務経験者
常勤	副田 勝久	都内百貨店に勤務し、アパレル販売、バイヤー、催事担当、社員教育等の実務経験を有する。					○

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
卒業制作ファッションショー制作実習		2年,3年アパレル技能科,造形科		期区分	前期	時間数	35H
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技80%・講義20%		なし			
科目概要	ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリー名を考える。衣装デザインを準備する。						
習得項目	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。						
評価方法	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力での評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1	リーダー決定・全体テーマ出し					4月15日
	2	仮決定・プレゼンテーションを準備する。理事長にプレゼンテーションをする。					4/22～5/20
	3	カテゴリー案出し。仮決定。					5/27～6/10
	4	担当分け。プレゼンテーションを準備。理事長にプレゼンテーションをする。					6/17～6/24
	5	カテゴリーごとに分かれて打ち合わせをする。					7/1～7/15
	6	ラフな卒制デザイン画提出					7月22日
	講師区分	常勤	講師名	鷲 .花澤. 内山. ジョノー	関係実務経験	コレクションブランドのデザイナー、舞台衣装のデザイナー	

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間			
デザインドローイング		2年アパレル造形科		期間区分	前期	時間数	35
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)			
	必修	実技・実習		なし			
科目概要	1.テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力(コンテスト)を養う。 2.コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。						
習得項目	企画書、仕様書の作成						
評価方法	授業姿勢、製作課題評価						
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標					期間(月日)
	1 実践実習	コンテストスタイル画作品① (第22回YKKファスニングアワード) 提出日:5/9/2022(月)					4/14/2022
							4/21/2022
							4/28/2022
		コンテストスタイル画作品② (ナゴヤファッションコンテスト2022) 提出日:5/23/2022(月)					5/12/2022
							5/19/2022
		コンテストスタイル画作品③ (日暮里ファッションデザインコンテスト2022) (木) 提出日:6/16/2022					5/26/2022
							6/2/2022
							6/9/2022
		コンテストスタイル画作品④ (ユニフォームコンクール「第24回千年大賞」) 提出日:7/7/2022(木)					6/16/2022
							6/23/2022
							6/30/2022
		コンテストスタイル画作品⑤(第97回装苑賞) 提出日:7/21/2022(木)					7/7/2022
							7/14/2022
							7/21/2022
講師区分	常勤	講師名	ジョノー	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L Fashion Design and Consultingに デザイナーとして勤務		

授業科目名		履修対象学科クラス		履修期間		
デザインドローイング		アパレル造形科		期間区分	後期	時間数 57.5
選択区分	必修 or 選択	授業形態		企業連携(企業名)		
	必修	実技・実習		なし		
科目概要	1.テーマや素材、世にある優れたデザインに目を向け想像応用力(クリエイション)を養う。 2.コンセプト、デザインストーリーの構築を理解する。 3.プレゼンテーション力の強化(資料、素材の収集～ストーリーの構築)					
習得項目	企画書、仕様書の作成					
評価方法	授業姿勢、製作課題評価					
授業計画	ステップ	学習内容・単元習得目標				期間(月日)
	1 実践実習	デザイン手法				9/1/2022
						9/8/2022
						9/15/2022
						9/22/2022
						9/29/2022
						10/6/2022
	2 応用実習	デザイン表現の研究				10/13/2022
						10/20/2022
						10/27/2022
						11/10/2022
						11/17/2022
						11/24/2022
	3 発展実習	デザイン製作技法の指導				12/1/2022
						12/8/2022
						12/15/2022
						12/22/2022
						1/12/2023
						1/19/2023
						1/26/2023
講師区分	常勤	講師名	ジョノー	関係実務経験	Marani、L'sEclaireur、 2G2L Fashion Design and Consultingに デザイナーとして勤務	

授業科目名		履修対象	履修期間			
PCワーク		2年アパレル造形科	期間区分	後期I	時間数	27.5
選択区分	履修区分	授業形態	企業連携(連携企業)			
	必修	講義50%、実技50%	なし			
科目概要	Windowsパソコンの操作方法と、ビジネスソフト(Word・Excel・Powerpoint)の使い方の習得。 基本的なタイピングからWordを使ったプレスリリースの作成技術を身に付け、 Excelを使って表やグラフを作成できるようにし、文章・表・グラフの作成技術を応用し Powerpointを使って効果的なプレゼンテーションを行うことの習得を目指す。					
習得項目	1.Windowsパソコンの基本操作やキーボードを使ったタイピング技術を身に付ける。 2.Wordによる基本的な文章作成を行えるようにする。 3.Excelを使った表やグラフの作成、関数を使った収支表の作成方法を身に付ける。 4.Powerpointを使ったプレゼンテーションデータを作成し、それを使ったプレゼンテーションを行う。					
評価方法	授業態度、提出物、テストを行い採点する。 各項目に標準点を置き「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント「技術試験」100ポイントとして、その平均値を算出し評価を行う。(出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる) 出席率が65%未満の場合は留年。					
授業計画	ステップ	学習内容・習得目標				期間(月日)
	1	Windowsパソコンの基本操作・タイピングの基本				9月7日
	2	Wordを使ったビジネス文章の作成				9月14日
	3	Wordを使った画像入りビジネス文章の作成				9月21日
	4	Powerpointを使ったプレゼンデータの作成(画像や図形、グラフ)				9月28日
	5	Powerpointデータの作成(アニメーション・発表者ツール)				10月5日
	6	Powerpointデータの発表				10月12日
	7	Excelを使った四則計算を含んだ表の作成				10月19日
	8	Excelを使った関数を含んだ表の作成(SUM・AVERAGE等)				11月2日
	9	Excelを使ったグラフの作成(円・棒・折れ線)				11月9日
	10	Word・Excelのテスト(実技)				11月16日
	11	Word・Excelのテストの答え合わせ・総ざらい				11月30日
講師区分	講師名	講師略歴				企業・当該実務経験者
常勤	福島哲平	IT系出版社での編集者、およびフリーランスの編集者／ライターの実務経験者。				○